

分科会・分散会一覧

No	分科会名	分科会	分散会名	テーマ	座長	助言者
A	施設でのその人らしい暮らしを支える	A-1①	豊かな生活を支える	<p>「その人らしい暮らし」を支えることを中心に、日常生活の中で支援の在り方や個別ケアの工夫、認知症ケアの取組、医療と介護の連携、最期まで食べることを大切にしたい取組など、現場での実践事例・悩みを持ち寄り、学びあいましよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厳しい体制の中でも、工夫しながら「その人らしい暮らし」を支える ・ 創意工夫をしながらすすめている「小規模・小集団ケア」の実践 メリット、デメリット 課題 ・ “その人”の QOL をつかむ リハビリや外出支援などの取組 ・ 排泄ケアや入浴ケア、口腔ケアなどの工夫 ・ チームケア、多職種協働による実践 ・ 認知症高齢者が安心して生活できるための創意工夫 ・ 認知症高齢者の尊厳を大切にしたいケアの取組 	兵庫県 芦原デイサービスセンター 介護課長 木村 圭志	鹿児島 にじの郷にこやま 施設長 竹下 順造
		A-1②			岡山 中野けんせいえん 施設長 竹永 徹	沖繩 ゆががふ苑 施設長 玉城 好史
		A-1③			新潟 むつみ荘 施設長 松井 裕	熊本 輝祥苑 施設長 今村 文典
		A-2			静岡 芳川の里 施設長 小杉山 敬	あいち福祉医療専門学校 非常勤講師 早川 昌宏
		A-3①	重度化した高齢者への対応(医療と介護の連携、看取り等)	入所者の重度化にともなう、きめ細かな、健康管理、感染症対策・対応が求められています。本人の希望にスタッフ・家族の思いを重ねた「その人らしい最期」一理想の看取りとは。	大阪 城東特別養護老人ホーム 施設長 中島 素美	福岡 いきいき八田 施設長 渡部 美紀
		A-3②			京都 原谷こぶしの里 施設長 介山 篤	長崎 青葉苑 施設長 大町 由里
A-4	食について考える	<p>重度化に伴う食形態やユニットケア体制における現場調理や療養食加算の算定など施設における食の形態やあり方が複雑さを増しています。食事のあり方、課題について議論しましよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人に合わせた食の提供の工夫、委託業者との連携 ・ 最後まで食べる楽しさを継続する取組、生きた栄養ケアマネジメント ・ 嚥下障害や食欲不振、認知症による摂取量低下など 栄養改善の取組 ・ 個別対応と調理現場での工夫 委託業者との連携 ・ サービス機関との連携、地域資源の活用 ふるさと訪問など、地域との交流の経験 	愛知 ケアハウスすこやか の里 施設長 阿藤 広志	福岡 ライフ戸畑 施設長 高尾 美奈子		
A-5	ケアハウス・有料老人ホーム・サ高住等多様な住まいの機能と役割	<p>高齢者の住まいの普及が促進され、各地で多様な住まいが建設されています。サービス付きの高齢者住宅、有料老人ホーム(住宅型、介護付き)、グループリビングなど、これらが「老人の住まいと介護」の保障になりえるのか、また安心の住まい「終いの棲家」になりえるのか、事例をもちより、現状と課題を議論しましよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な住まいの機能と役割、運営の問題・課題 ・ 中重度者への対応 ・ 医療的ケアが必要な利用者への対応と課題 医療・福祉・地域との連携 ・ 地域でのネットワークと連携 「貧困ビジネス」の実情 いわゆる措置控え ・ 利用者の状況から見えてくる役割 相談機能 入居者の「孤独」とどう向き合うか <p>養護老人ホームの役割と今度の運営について、現状課題や固有の問題について議論しましよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 養護老人ホームの在り方、利用者への生活支援 ・ 精神疾患のある利用者への支援 ・ 「外部利用型」の導入など制度転換の実態と対応 ・ ショートステイの取組 ・ 自治体との連携、低所得者・社会適応困難高齢者の実態 いわゆる「措置控え」への対応 	群馬 恵泉園 施設長 早川 博之	岡山 岡山市会場の里 施設長 藤岡 理恵		
A-6	養護老人ホームの役割と課題					

No	分科会名	分散会	分散会名	テーマ	座長	助言者
B	在宅生活を支える	B-1	短期入所の取り組みを中心	<p>「施設から在宅へ」の流れのなかで、重度の在宅生活者も増加しています。在宅生活を支えるショートステイのデザインの今日的な役割や課題、地域ネットワーク、医療ニーズの高い利用者への対応など、実践事例を持ち寄り学びあひましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑利用者本人、家族の暮らしはどのように変化しているか ☑デイサービス・ショートステイを一体的に取り組んでいる実践事例 ☑ショートステイ、デイサービス特有の課題、難しさ、工夫した取り組み ☑認知症高齢者のショートステイ、デイサービスでの支援の工夫 ☑多様化するニーズへの対応(ケアプランとの連動、長時間型、夜間型、お泊まりなど) ☑事故防止の取り組み ☑業務の工夫改善・利用者拡大の取り組み ☑ショートにおける個別の援助とは？ ☑介護予防(デイ)への取り組み、その効果 ☑医療的ケアが必要な利用者の対応と課題 ☑個別機能訓練、口腔ケア、栄養マネジメントの取り組み ☑家族支援の在り方 相談、援助、認・認・世帯への援助 レスパイトケアの在り方の変化 ☑デイ、ショートにおける各職種の役割と連携 ☑緊急ショートステイの受け入れ(高齢者虐待での対応等) 	<p>兵庫 KOBE 須磨さくらえん 部長 小林 大洋</p> <p>千葉 やわら木苑 施設長 阿部 孝志</p>	<p>大阪 結いの里 施設長 阿部 裕一郎</p>
		B-2	通所介護の取り組み	<p>高齢者は地域で暮らし続ける中で、たくさんの方の生活課題を抱えています。安心して暮らすことができる地域づくり、コミュニケーションについて、また市町村独自の制度などその人らしい生活が支援できる地域包括ケアの姿について実践例や課題を持ち寄り議論しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑地域包括ケアの新たな役割と課題 ☑アセスメントとリスク管理、情報共有 ☑多問題家族や独居、老老家族など困難事例への取り組み ☑障害のある家族支援の取り組み ☑総合事業の課題と成果 ☑連携の課題、地域の課題 ☑権利擁護、行政との関係 	<p>福岡 くらさ苑 苑長 宮田 真由美</p>	
		B-3	地域包括ケアと総合事業 困難事例、居宅介護支援・地域包括支援センター	<p>度重なる制度改正に利用者・家族も事業所もほんろろされています。それをどう乗り越えてきたのか、乗り越えようとしているのか。深刻なヘルパー不足への対応、看取り、独居認知症高齢者を支える緊密なネットワークの構築も急務です。事例を通して、訪問介護の専門性を語り合い、問題を共有しましょう。また地域との連携や社会的地位の向上にどんな実践を行っているのか、経験を持ち寄り討議しましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質の向上の取り組み・サービス提供者の役割 ・ ヘルパー確保・育成、高齢ヘルパーへの配慮など、スタッフの確保 ・ サービス提供者の主張・・・「やりがいはあるけど、なんとかしてよ！この現実」 ・ 生活支援の専門性・・・「その人らしさを支え、今日も明日も生活できる」を支える ・ ヘルパーの担う「医療行為」・・・研修制度、事故のリスクなどを考えておきたいこと ・ この家で最期まで・・・在宅での看取りの実態 ・ ネットワーク、地域づくりの取り組み、「同居家族」問題、自費介護など制度矛盾への対応 ・ 「特定事業所加算」のとりくみ、新総合事業への取り組み、身障制度の合体 <p>(グループホーム・小規模多機能施設)</p>	<p>京都 生活支援総合センター 一姉小路 施設長 宮本 武史</p> <p>大阪 GH たんぽぽ ホーム長 正森 克也</p>	
		B-4	在宅を支える訪問事業 グループホーム ケア 小規模多機能施設	<p>地域密着型サービスとして、地域の中におけるグループホームの在り方、重度化や看取りの対応等、ケアの質が問われています。グループホームならではのケアや課題を持ち寄り議論しましょう。小規模多機能施設は、「通い」「泊まり」のサービスとして創設されましたが、メリットともに多くの問題が浮かび上がっています。在宅生活を支える取り組みや課題について、実践事例を通して議論しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループホームでのケアの在り方、実践、役割、地域とのかわり ・ 小規模多機能施設の役割と地域連携、認知症になっても地域で暮らせるための施設の役割 ・ 医療的ケアが必要な利用者の対応と課題 		

No	分科会名	分科会	分科会名	テーマ	座長	助言者
C	人としての尊厳と安心・安全な生活を考える	C	安心・安全な生活、災害への対応	日常生活の中には多くのリスクが存在します。利用者・家族との信頼関係の構築本人の尊厳を大切にしながら安全に安心して暮らしていただくために、リスクへの対応によっては、利用者の生活のあり様が変わることがあります。事故予防の取り組みや体制づくり、研修や学習活動など各施設の実践を持ち寄り議論しましょう。 <ul style="list-style-type: none"> 発生した事故・ヒヤリハットから学んだこと、再発防止、改善の工夫 身体拘束廃止、虐待防止の取り組みと課題、オンブズマンや第三者機関活動の実例 その人らしさ、自由、プライバシーを守るケアの実践、高齢者の生活とリスクマネジメント 事故防止の取り組みや体制、家族との連携・信頼関係づくり、事故対応マニュアルと活かし方 職員が誇りと自信をもつて元気に働くことは、職場の大きな目標です。そのような職場づくりをどのように進めるか、取り組みの事例などを持ち寄り、課題や問題解決のヒントを考えましょう。新しい8Kが実現できる職場づくりについて話し合います。 (より良い職場づくりのために)	京都 ライブリズム 事務局長 藤田 隼平	兵庫 にしのみや苑 施設長 田中 研次
D	育ち合い育てあう職場づくりをめざして	D	より良い職場づくりのために	よい介護ケアを進めるためには、「働きがいがある職場づくり」が必要です。中間管理職の立場の悩みや課題も率直に出し合いながら議論しましょう <ul style="list-style-type: none"> 職場会議の持ち方、職場運営 求められる中間管理職、果たす役割 組織の活性化につながる取り組み、チームワークや協力・連携への課題。 研修制度、職員育成の工夫や悩み。職員に寄り添ったキャリアパス・処遇体系づくり メンターなど、「育ち・育ち合う」とりくみ 派遣・外国人・障害者雇用などをどう考えるか 本音トークで職場の問題にとりくんだ経験 管理職や上司、他職種とのコミュニケーション工夫 職場のストレスマネジメントやメンタルヘルスの取り組み、課題 リファラル(紹介)制度など、リクルート活動への参加 事業の多様化、制度改定、厳しい経営環境の中、「実務の要」としての役割がますます重要になっていきます。また、行政や地域との関係づくりのうえでもその能力を求められています。事務部門の役割について議論を深めましょう。	福岡 いきいき八田 統括部長 川添 大介	富山 しらいわ苑 施設長 加藤 まゆみ
E	福祉施設の事務の役割を考える	E	事務の役割を考える	<ul style="list-style-type: none"> 福祉施設における事務部門の役割、介護現場との連携の工夫 事務、総理、総務事務の効率化、経営データの活用、情報管理の工夫。守秘義務と情報公開の課題 事務部門からみた介護保険・福祉制度の問題点 感じる矛盾 民主的運営の課題、各種委員会の事務局など運営への参加 全職員参加の経営・運営、処遇改善に向けた取り組み 利用者・入居者の「豊かな生活」を実現するためには、介護従事者だけでなく、家族・地域住民との連携が不可欠です。家族介護者への支援、家族介護者の課題や悩みなどから施設と家族(家族会)、施設と地域の繋がりを、「家族』『地域』について大いに議論しましょう。家族会や地域の方など大歓迎。	千葉 やわら木苑 総合サービス室長 伊藤 裕之	宮城 宮城厚生福祉会 事務局長 大内 誠
F	地域や利用者・家族に支えられた施設づくりのため	F	地域や家族に支えられた施設づくり、地域貢献の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 家族会活動の現状と課題、家族とのケアパートナーシップ・ボランティア活動 家族等介護者への支援と課題、家族介護の家族の本音とその支援 施設を支える会の活動交流 介護者のネットワークづくりの現状と課題、地域のインフォーマルな共同組織活動 地域貢献活動内容の現状と課題 ことも食堂 独居老人食事会 介護教室など 地域に根ざした施設運営、新規事業計画 苦情や意見の施設運営への反映 利用者アンケート、利用者満足度調査と運営改善運動など 	石川 なんぶやすらぎホーム 施設長 坂口 朋美	東京 白十字ホーム 施設長 西岡 修